

地域人材ネット

自治体における危機管理時のマスコミ対応

桜井 誠一 (さくらい せいいち)

関西学院大学復興制度研究所 研究員



○登録者情報

所在地

兵庫県神戸市

略歴

1995年1月17日阪神・淡路大震災時は神戸市広報課長(災害対策本部の情報整理、マスコミ対応の責任者として従事)、1996年4月 生活再建本部次長(被災者の生活再建施策の立案、仮設住宅から恒久住宅への移転支援を担当) 2009年5月16日国内初! 新型インフルエンザ神戸騒動時 神戸市保健福祉局長 2010年4月-2014年3月神戸市代表監査委員 2014年11月から日本パラリンピック委員会副委員長

著書・論文等

「阪神・淡路大震災における広報活動について—その検証と課題—財団法人神戸市都市問題研究所」(1995年7月)、「大震災の経験を生かして—現代の危機管理 公衆衛生61巻第12号医学書院」(1997年12月)、「防災都市・神戸の情報網整備—神戸市広報課の苦悩と決断—1996/5/1株式会社ぎょうせい編著、生活再建施策の展開と現状 都市政策論集 財団法人神戸市都市問題研究所」(1999年1月)、「大震災神戸発！元広報課長の体験的危機管理 時事通信社」(2007年7月)、「新型インフルエンザ国内初！神戸市担当局長の体験的危機管理 時事通信社」(2009年9月)、「自治体連携と受援力」共著 公人の友社(2013年4月)、東日本大震災関連では学会への投稿、雑誌掲載など多数(2011年4月以降)

○ 自治体における危機管理時のマスコミ対応

取組の内容

神戸市広報課長時代、1993年～1996年関西学院大学で非常勤講師として行政広報論を教えていました。その最中に阪神・淡路大震災が起こり、災害対策本部と同居型のプレスルームを設置し、被災者への情報伝達を実施しました。その後、被災者の生活再建に取り組むとともに、行政組織の危機管理防災、マスコミ対応などについて 日本災害情報学会、日本災害復興学会、神戸市職員の災害対応経験者でつくる「神戸技術者の会」などに所属し、研究・実践を重ねてきました。2009年5月の新型インフルエンザ時には神戸市保健福祉局長として危機管理にあたり、マスコミ対応などを実践しました。東日本大震災では、神戸市の総合アドバイザーとして被災地名取市への行政支援を行いました。2011年10月から関西学院大学災害復興制度研究所研究員。

実績

市町村国際文化研修所、国立保健医療科学院、JICAなどでの危機管理研修講師、自治体や企業危機管理研修の講師など 年間10数件行っています。東日本大震災関連では、NHKをはじめTV出演など多数あります。

ひとことPR

阪神・淡路大震災、新型インフルエンザ、東日本大震災の現地支援、行政内部不祥事などの体験に基づき、危機管理対応やマスコミ対応の事例を中心にお話しをしています。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1	地域経営改革	7	まちなか再生
2	地場産品発掘・ブランド化	8	若者自立支援
3	少子化対策	○	9 安心・安全なまちづくり
4	企業立地促進	10	環境保全
5	定住促進	11	その他()
6	観光振興・交流		